

河川水質調査結果

市内河川の水質はおおむね良好

―7月は河川愛護月間です―

市では、毎年きれいな水辺を守るため、市内の10河川の水質を調査・監視しています。この調査は、一年に小野川で12回、他の河川で6回行っています。調査ではいろいろな指標で測定しますが、河川の汚れの程度を表す「BOD」（※1）は、河川の汚れや魚の生息に重要な目安となります。

川にすむ魚とBODの関係は、イワナやヤマメなど清流の魚がすむためには、「BODの値が「2mg/ℓ以下」、サケ、アユなどがすむためには「3mg/ℓ以下」で、比較的汚れには強いコイ、フナなどがすむためには「5mg/ℓ以下」であることが求められています。市を流れる小野川（全域）のBODの環境基準値（※2）は、「2mg/ℓ以下」、稲荷川は「3mg/ℓ以下」としています。

下記表1の平成22年度と平成23年度のデータを比べると、市内の河川11カ所のうち、4カ所はBODの値

が下がり（水質が改善したという意味です）、1カ所は変わりませんでした。残りの6カ所は、BODの値が、少し上がっていますが、11カ所でBOD値は「3mg/ℓ以下」という調査結果でした。乙戸川、桂川、小野川（上流）以外の河川のBOD値については良好な状態といえます。

また、川の汚れの原因は、私たちの生活と大きく関連しています。ご家庭では、せっけんや洗剤は必要以上に使わない、油などを含んだ汚れた水は流し台に流さないようにすることで、川は常にきれいな状態を保つことができます。川をきれいに保つため、皆さんのご協力をお願いいたします。なお、市では15人の水質監視員を委嘱して、10河川の異常やごみの不法投棄などの定期監視とその報告を受けて、各河川の水質汚濁の防止に努めています。

表1. 市内各河川のBOD 値経年変化(年平均)

(単位: mg/ℓ)

河川名	21年度	22年度	23年度	環境基準
刈谷川	1.6	2.4	1.6	—
稲荷川	1.4	1.6	1.8	B 類型3mg/ℓ 以下
根古屋川	0.9	1.5	1.4	—
遠山川	1.0	1.5	2.0	—
柏田川	2.0	1.8	1.7	—
結束川	1.4	2.4	1.5	—
太田川	1.4	1.3	1.8	—
桂川	1.5	1.9	2.1	—
乙戸川	1.6	1.8	2.7	—
小野川(上流)	2.2	2.3	2.3	A 類型2mg/ℓ 以下
小野川(下流)	1.7	1.9	2.0	A 類型2mg/ℓ 以下

※「—」は環境基準が指定されていません。



小野川

（※1）…BOD（生物化学的酸素要求量）とは、水中にある有機物をバクテリアが分解するのに必要な酸素の量をいい、この値により、水中にある生物化学的な分解を受ける有機物の量を示します。水の流れがある河川などの汚濁の程度を判断するための指標です。BODの単位はmg/ℓで表します。

（※2）…環境基準値は、河川（公共用水域）の生活環境の保全に関する環境基準として、利用目的の適用性により、AAからEの類型に分類され、小野川（全域）は類型がAに、稲荷川はBに指定されています。

【河川の環境基準】

区分	BOD（生物化学的酸素要求量）
AA 類型	1mg/ℓ 以下
A 類型	2mg/ℓ 以下
B 類型	3mg/ℓ 以下
C 類型	5mg/ℓ 以下
D 類型	8mg/ℓ 以下
E 類型	10mg/ℓ 以下

問 環境政策課 ☎ 内線1561